



土人形(天神)



赤天神

# ひな人形と初風展

—女の子の節句・男の子の節句—



御殿飾り 1928(昭和3)年

親たちが子どもの健やかな成長を願うのは、どの時代にも共通したものです。こうした思いの表れとして、江戸時代以降、3月3日の上巳の節句(ひな祭り)には女の子のためにひな人形を飾り、5月5日の端午の節句(子どもの日)には男の子のために鎧兜や武者人形を飾るなど、現在に至るまで全国各地でさまざまな行事が催されてきました。加えて、田原市を含む東三河地域では3月の節句には男の子向けに天神様の人形を飾る文化がありました。また、渥美半島では子どもの誕生を祝って大きな凧を制作し、空高く揚げる行事(初凧)も広く行われていました。

今回の展示では、この地域に残された江戸時代から現代に至るひな人形、天神人形や、今年作られた初風をご覧いただけます。それぞれの時代を写した人形たちを、子どもの成長を願う親たちの思いを感じつつ、お楽しみください。

令和3年 2月11日(木・祝) → 4月11日(日)

場所 ● 田原市博物館 企画展示室1  
 開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 休館日 ● 月曜日  
 観覧料 ● 一般310円(240円)、小中学生150円(120円)  
 ※( )は20名以上の団体料金/毎土曜日は小・中・高校生無料  
 ※東三河在住の小中学生はほの国こどもパスポート提示で無料  
 主催 ● 田原市博物館、田原風保存会

## 田原市博物館

〒441-3421  
 愛知県田原市田原町巴江11-1  
 TEL 0531-22-1720  
 http://www.taharamuseum.gr.jp

- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、徒歩15分(田原城跡内)
- 豊鉄バス伊良湖本線・支線「田原董町」下車、徒歩10分
- 田原市ぐるりんバス「博物館入口」下車、徒歩3分



同時開催  
 華椿系の系譜  
 椿椿山 渡辺小華  
 特別展示室

## 田原市博物館 平常展



雛祭図(部分) 渡辺華山筆 1838(天保9)年



初風(八幡太郎義家)



初風(加藤清正)



初風(歌川国芳[相撲]より)



今年新たに  
 作られた初風を  
 お披露目します



市内に伝わった  
 おひな様などを  
 展示します

江戸時代に始まったといわれています。男の子が生まれた翌年の端午の節句に、親戚などから贈られた祝い凧を揚げ、子どもの健やかな成長と家門繁栄を願いました。時を経て現在では、毎年5月の第4土曜日に「初風祈願祭」が開催されます。地元の凧師によって武者絵、歌舞伎の場面などの華やかな絵が描かれた初風を大空に揚げ、家族揃って子どものお祝いをするのです。

この地方で、ひな人形を飾る習慣が一般化したのは江戸時代後半であるといわれています。明治中頃からは男ひな、女ひなが一對となった親子飾りひな人形が飾られる一方、素朴な味わいのある土人形も愛されました。大正時代の末頃になると、豪華な御殿飾りのひな人形が登場し、さらに戦後の高度成長期には現在の屏風段飾りひな人形が主流となって現在に至っています。